

環境報告書

令和 5 年度（2023 年度）版



目 次

私たちの取組	1
第1章 事業概要	2
1. 施設概要	
2. 組織概要	
第2章 事業活動に係る環境配慮の取組状況	6
1. 環境方針	
2. 環境負荷	
3. 環境対策	
4. 再資源化处理	
5. 環境負荷を減らす取組	
第3章 コミュニケーション	22
1. 環境情報の提供	
2. 施設見学	
3. 住民参加事業・大学連携	
4. 連絡協議会	

私たちの取組

城南衛生管理組合は、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町、井手町の3市3町が、環境廃棄物行政の推進のためにつくる特別地方公共団体です。

昭和37年7月、当時の宇治市、城陽町、八幡町、久御山町、宇治田原町の1市4町のし尿の共同処理を行うため、組合の前身となる「宇治市外4町し尿処理組合」として発足し、昭和39年に名称を現在の「城南衛生管理組合」としました。その後、昭和40年9月からし尿に続きごみの共同処理を開始。昭和56年に井手町が組合に加入して以来、現在の組合構成となっています。

仕事の内容は、安全安心な工場運営を基本に、ごみの処理・処分・再資源化、し尿の収集・運搬・処理、し尿処理手数料の徴収を行い、循環型社会の構築、脱炭素社会の実現に向けた事業を推進しています。また、地球環境の改善を目指し、EMS活動、工房運営、広報紙発行などの広報啓発事業を行っています。



(令和6年3月31日現在)

■報告する期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日

第1章 事業概要

1. 施設概要

本庁管理棟



- ・安全推進室：コンプライアンスの推進、環境マネジメントシステムに関すること
- ・総務課：人事、給与、福利厚生、広報、予算編成、例規の制定改廃
- ・業務課：し尿収集運搬計画、し尿処理手数料徴収、浄化槽清掃業許可
- ・会計課：公金の出納、情報公開窓口、契約事務

クリーンピア沢



クリーンピア沢は、し尿処理施設として設置されましたが、現在は、組合管内から収集されたし尿及び浄化槽汚泥、本施設でその全量を前処理・希釈調整し公共下水道（八幡市）へ排水しています。

総事業費 45億3,200万円

着 工 平成6年8月

竣 工 平成9年2月

- ・施設課：各施設整備の調整、処理計画、処理実績統計、沢中継施設の維持管理業務、し尿処理施設の維持管理、

沢中継施設



ごみ焼却施設の配置状況から、構成市町の可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック製容器包装の収集運搬業務効率化を図るため、八幡市に設置した中継施設です。

総事業費 23億560万円

着 工 令和3年5月

竣 工 令和5年3月

処理方式 可燃ごみ：コンパクト・コンテナ方式
不燃ごみ：スライドデッキ積替方式
プラスチック製容器包装：
スクリュコンベヤ方式

処理能力 可燃ごみ：82 t / 日
不燃ごみ：13 t / 日
プラスチック製容器包装：6 t / 日

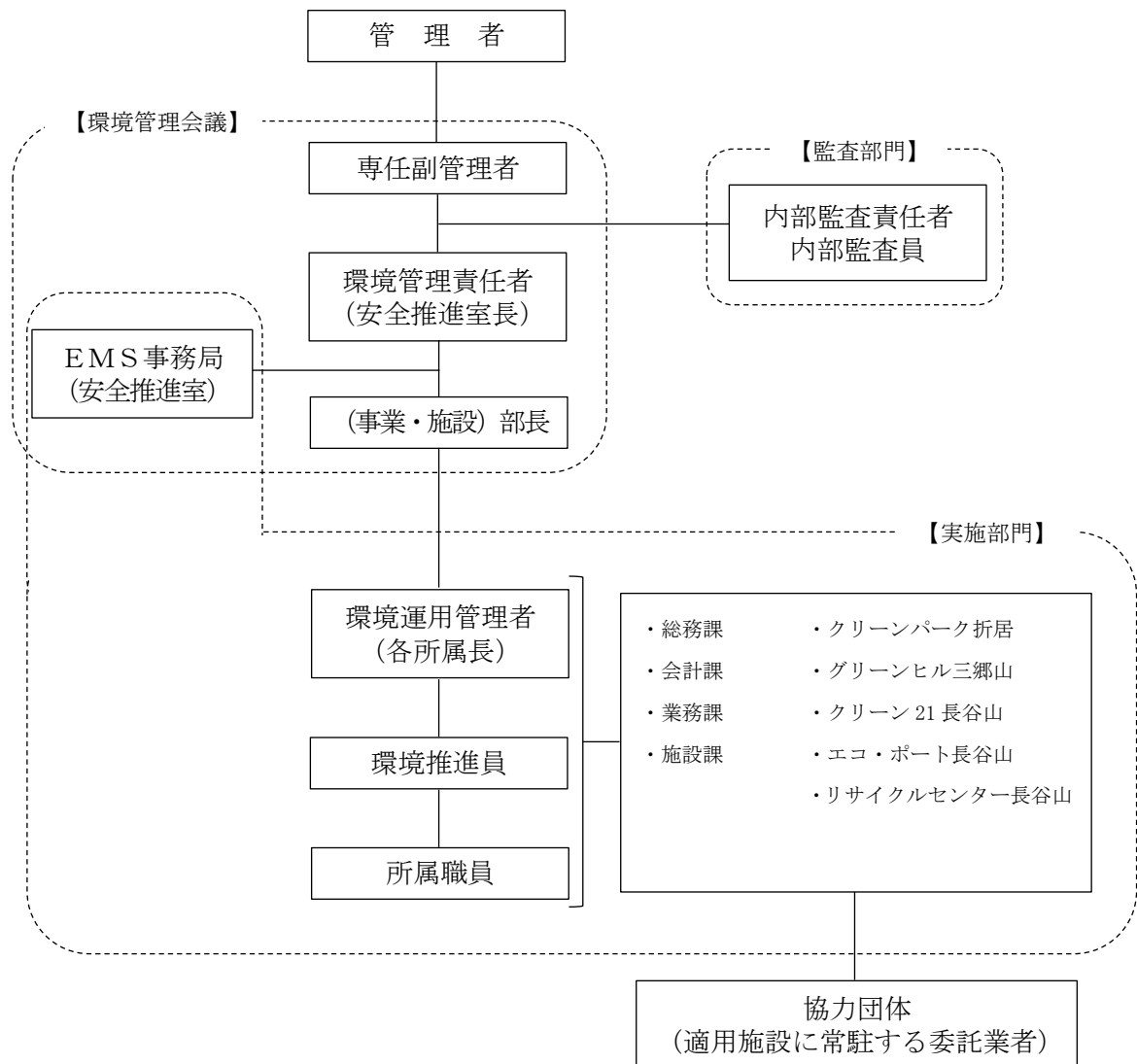
クリーン21長谷山  処理方式 全連続燃焼式 処理能力 240 t / 24H (120 t / 24H × 2 炉) 発電能力 4,900kW	管内から排出される可燃ごみの焼却施設です。この施設では、ごみを焼却したときの廃熱を利用して発電を行い、その電力で施設内の動力及び照明等を賄い、残りは売電しています。 総事業費 62億2,400万円 着 工 平成15年10月 竣 工 平成18年8月
クリーンパーク折居  処理方式 全連続燃焼式 処理能力 115 t / 24H (57.5 t / 24H × 2 炉) 発電能力 2,110kW	管内から排出される可燃ごみの焼却施設です。最新の画像認識システムや、焼却施設としては世界初の膜構造煙突を採用しています。焼却により発生する熱を発電や隣接する山城総合運動公園への温水供給に利用しています。 総事業費 162億円 (うち設計・施工業務91億2,200万円・運営業務70億7,800万円) 着 工 平成27年2月 竣 工 平成30年3月
リサイクルセンター長谷山  処理能力 粗大・不燃ごみ 60 t / 日 プラスチック製容器包装 17 t / 日 破碎処理方式 二軸低速回転式+堅型高速回転式	粗大・不燃ごみの処理及びプラスチック製容器包装の資源化処理を行っています。 総事業費 20億9,400万円 着 工 平成24年7月 竣 工 平成27年3月
グリーンヒル三郷山  埋立容量 200,000m³ 埋立方法 サンドイッチ工法 浸出水処理方式 生物処理+高度処理 浸出水処理能力 100m³ / 日	不燃物の埋立を行う最終処分場で、主に土砂類、破碎選別処理後の不燃物残渣、自己搬入不燃ごみ、容器包装廃棄物のダストなどを埋立処分しています。 総事業費 27億6,000万円 着 工 平成10年8月 竣 工 平成13年3月

エコ・ポート長谷山  処理能力 46 t / 日	容器包装廃棄物のうち、缶類・びん類・紙パック及びペットボトルの4品目の再資源化を行う施設です。また、廃棄物の有効利用とごみ減量を図る「3 R推進のPR施設」として各種リサイクル教室の開催や施設見学等の受入れを行い、地域住民のリサイクル体験学習施設として運営していました。体験学習施設としての機能は新事務所棟の「環境ふれあいひろば」の開設に合わせて、内容をリニューアルして移転・継続します。 総事業費 12億9,500万円 着 工 平成9年11月 竣 工 平成11年1月
奥山排水処理施設  処理方式 標準脱窒素処理方式+砂ろ過方式+活性炭吸着方式 処理能力 120m³ / 日	平成13年度に埋立を終えた奥山埋立処分地から発生する浸出水の処理を行っています。 着 工 昭和51年12月 竣 工 昭和53年3月

(令和6年3月31日現在)

2. 組織概要

■環境管理推進体制（令和5年度）



第2章 事業活動に係る環境配慮の取組状況

1. 環境方針

○基本理念

城南衛生管理組合（以下「組合」という。）は、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町及び井手町の3市3町で構成する特別地方公共団体（一部事務組合）として、管内住民の日常生活から排出されるごみの中間処理、最終処分、リサイクル事業及びし尿の処理等を行っています。

『かけがえのないこの美しい地球を、しっかり次の世代に引き継ぐために』を環境理念とする組合は、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、安心安全な施設運営、地域社会の環境保全に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

○基本方針

1 組合は、基本理念に基づき、以下について重点的に取り組みます。

(1) 安心安全な施設運営

「環境関連法規制」及び自主基準や外部の利害関係者からの要望を含む「組合が同意したその他の要求事項」を順守することはもとより、汚染の予防を第一に施設運営を行い、住民にとって信頼できる生活環境の保全に努めます。

(2) 循環型社会、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組及び城南衛生管理組合地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量の削減を一体的に進めます。

2 環境目標を定め、その達成に努めるとともに、環境マネジメントシステムを日常業務に応用・活用し、組合が行う事務及び事業活動が与える環境負荷を継続的に改善します。

3 環境方針及び組合が保有する環境に関する情報は、文書またはインターネットを通し、組合内外のすべての人に公開します。

令和5年4月1日
管理者 松村 淳子



【SDGs（持続可能な開発目標）】

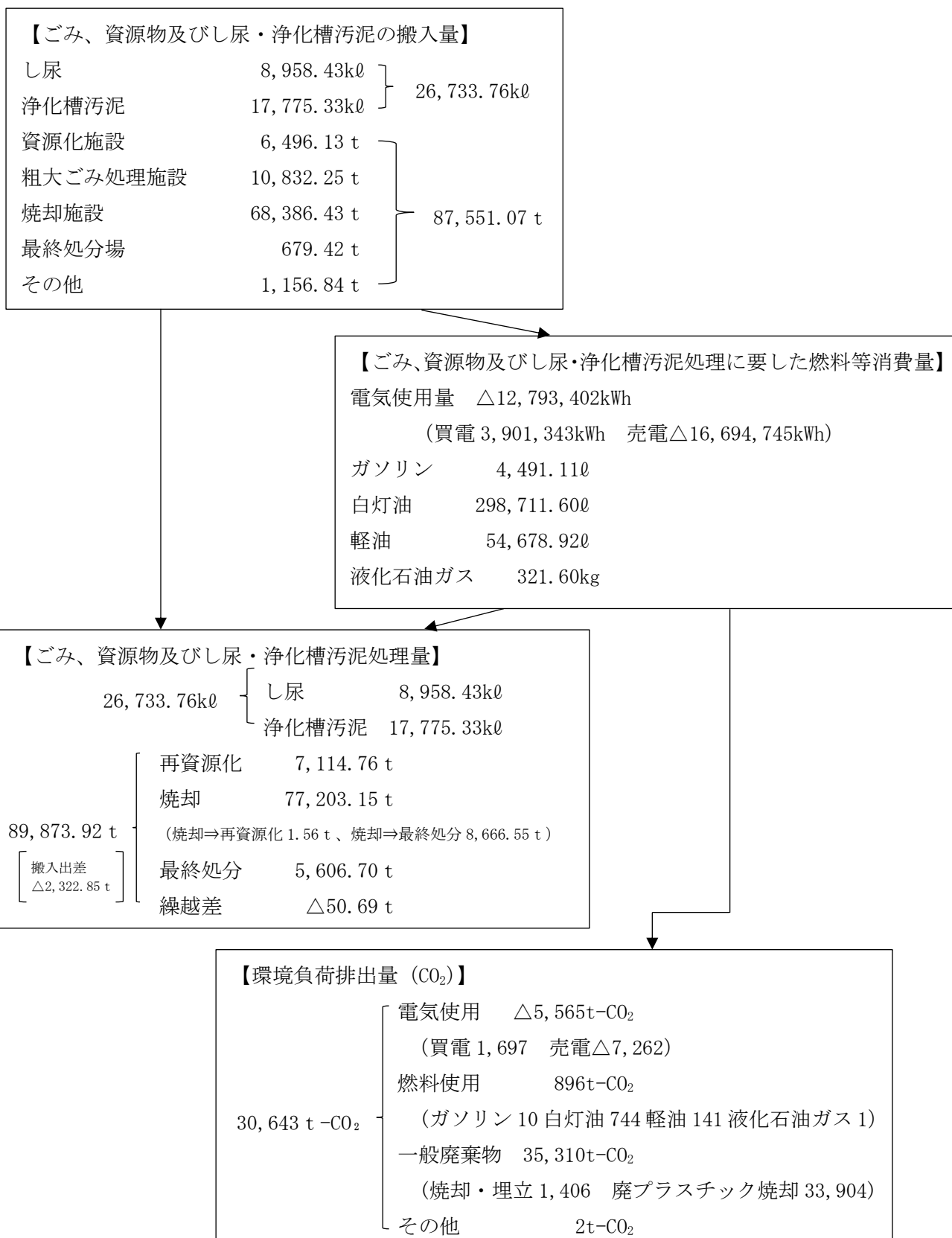
「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓うもののことです。

本報告書では、当組合事業とSDGsとの関わりを実感していただけるように、関係するSDGsのゴールマークを各項目に掲載しています。

2. 環境負荷



(1) 令和5年度の物質収支



(2) 城南衛生管理組合地球温暖化対策実行計画について

当組合では、行政機関として率先して地球温暖化防止を進めるため、平成 16 年 6 月より地球温暖化対策実行計画書「地球元気プラン」に基づく温室効果ガス削減の取組を行っており、以降 5 年ごとに見直しています。令和元年度には、令和 5 年度に平成 25 年度（基準年度）と比較して温室効果ガス排出量 25%削減を目標とする地球元気プランⅣ策定しました。

○地球元気プランⅣの主な取組目標

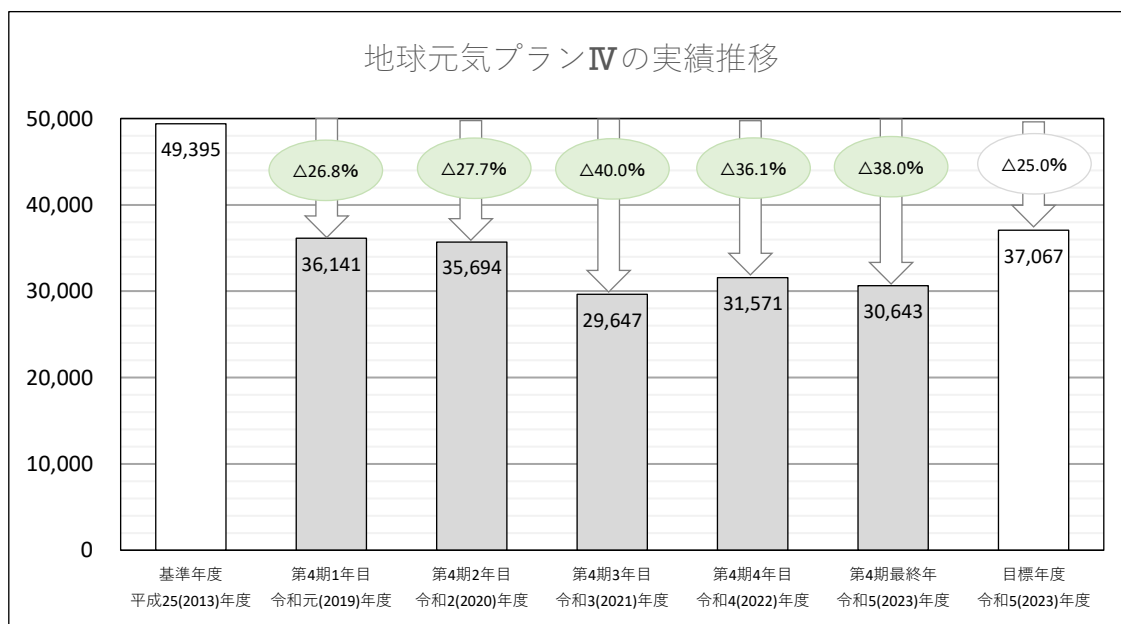
- ・啓発活動を積極的に行い、可燃ごみに含まれる廃プラスチック量を減少させ、二酸化炭素排出量を平成 25 年度比で 11,885 t-CO₂（△25.1%）削減する。
- ・ごみ処理基本計画（平成 30 年度改訂版）に基づき、処理量全体を減少させ、焼却から発生する一酸化二窒素排出量を平成 25 年度比で 181 t-CO₂（△11.1%）削減する。
- ・環境マネジメントシステムの運用による継続的改善と、人と地球のための行動計画である SDGs 達成に向けた活動を行う。
- ・機器等の更新・購入の際の環境配慮製品の積極的な導入と、公用車の低公害化・低燃費化を引き続き推進する。



地球元気プランⅣの最終年度となる令和 5 年度の実績は、基準年度と比べて 18,752t-CO₂（38.0%）の削減となり、目標達成となりました。また、令和 4 年度と比べても 928t-CO₂（2.9%）の削減となりました。

令和 5 年度をもって地球元気プランⅣについては、終了となりますが、次期地球元気プランにおいても環境マネジメントシステムを利用した継続的な CO₂ 削減の取組を行っていくこととします。

単位：t-CO₂



3. 環境対策



(1) 監視・測定

各施設では、環境に影響を与える側面（物質）を特定し、監視・測定しています。

■ダイオキシン類

令和5年度ダイオキシン測定結果一覧表

調査工場・地点		ダイオキシン類濃度		基準値
排ガス	クリーンパーク折居	1号焼却炉	0.00010ng-TEQ/m ³ N	0.1ng-TEQ/m ³ N
			0.00000087ng-TEQ/m ³ N (※)	
		2号焼却炉	0.00012ng-TEQ/m ³ N	
			0.000088ng-TEQ/m ³ N (※)	
	クリーン 21 長谷山	1号焼却炉	0.000027ng-TEQ/m ³ N	10ng-TEQ/m ³ N ※既設施設基準
		2号焼却炉	0.000041ng-TEQ/m ³ N	
		小動物焼却炉	0.21ng-TEQ/m ³ N	
ばいじん	クリーンパーク折居	混練装置出口	0.11ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
			0.060ng-TEQ/g (※)	
	クリーン 21 長谷山	集塵灰ピット	0.15ng-TEQ/g	
焼却灰	クリーンパーク折居	1号焼却炉	0.00027ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
			0ng-TEQ/g (※)	
		2号焼却炉	0ng-TEQ/g	
			0.000090ng-TEQ/g (※)	
	クリーン 21 長谷山	1号焼却炉	0.0015ng-TEQ/g	
		2号焼却炉	0.0030ng-TEQ/g	
		小動物焼却炉	0.00023ng-TEQ/g	
排水	クリーンパーク折居（処理水）		0pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L ※宇治市下水排除基準
	グリーンヒル三郷山（処理水）		0.000090pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
	奥山排水処理施設（処理水）		0.000011pg-TEQ/L	0.1pg-TEQ/L
	クリーン 21 長谷山（処理水）		0.000011pg-TEQ/L	※自主規制基準値

	特定事業場敷地出口（処理水） ※クリーン 21 長谷山処理水及び奥山排水処理施設処理水の合流出口		0.000022pg-TEQ/L	
土 壌	クリーンパーク折居	宇治市	0.015pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g
		山城総合運動公園	7.6pg-TEQ/g	
		用地内	2.0pg-TEQ/g	
	クリーン 21 長谷山	城陽市	1.3pg-TEQ/g	
		宇治田原町	1.6pg-TEQ/g	
		用地内	23pg-TEQ/g	

1pg（ピコグラム）・・・1兆分の1g

1ng（ナノグラム）・・・10億分の1g

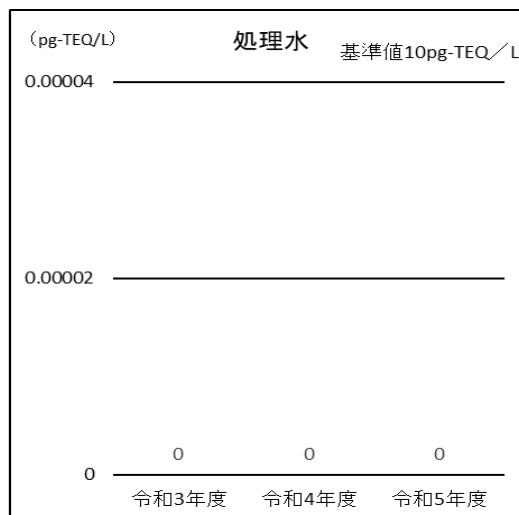
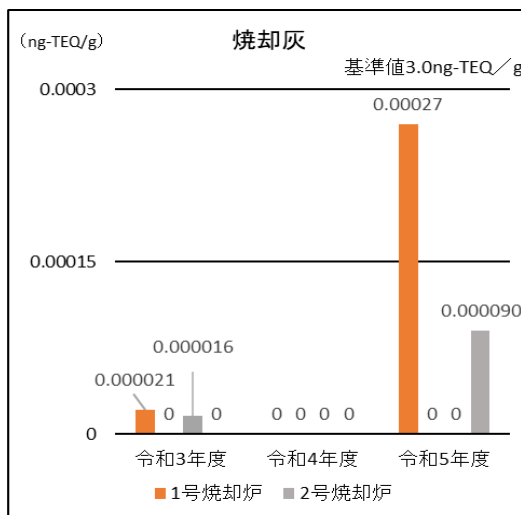
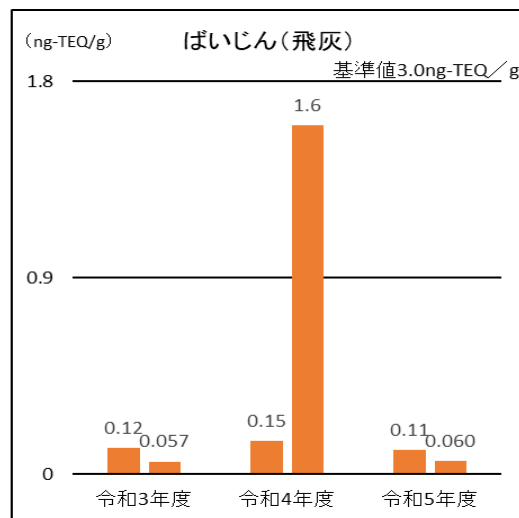
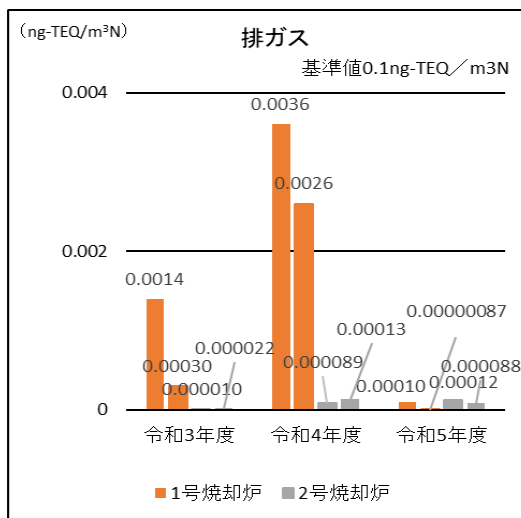
TEQ（毒性等量）・・・ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で最強の毒性を有する2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンに換算した量として表した符号

m³N（立方メートルノルマル）・・・温度0℃、圧力1気圧の状態に換算した気体の体積

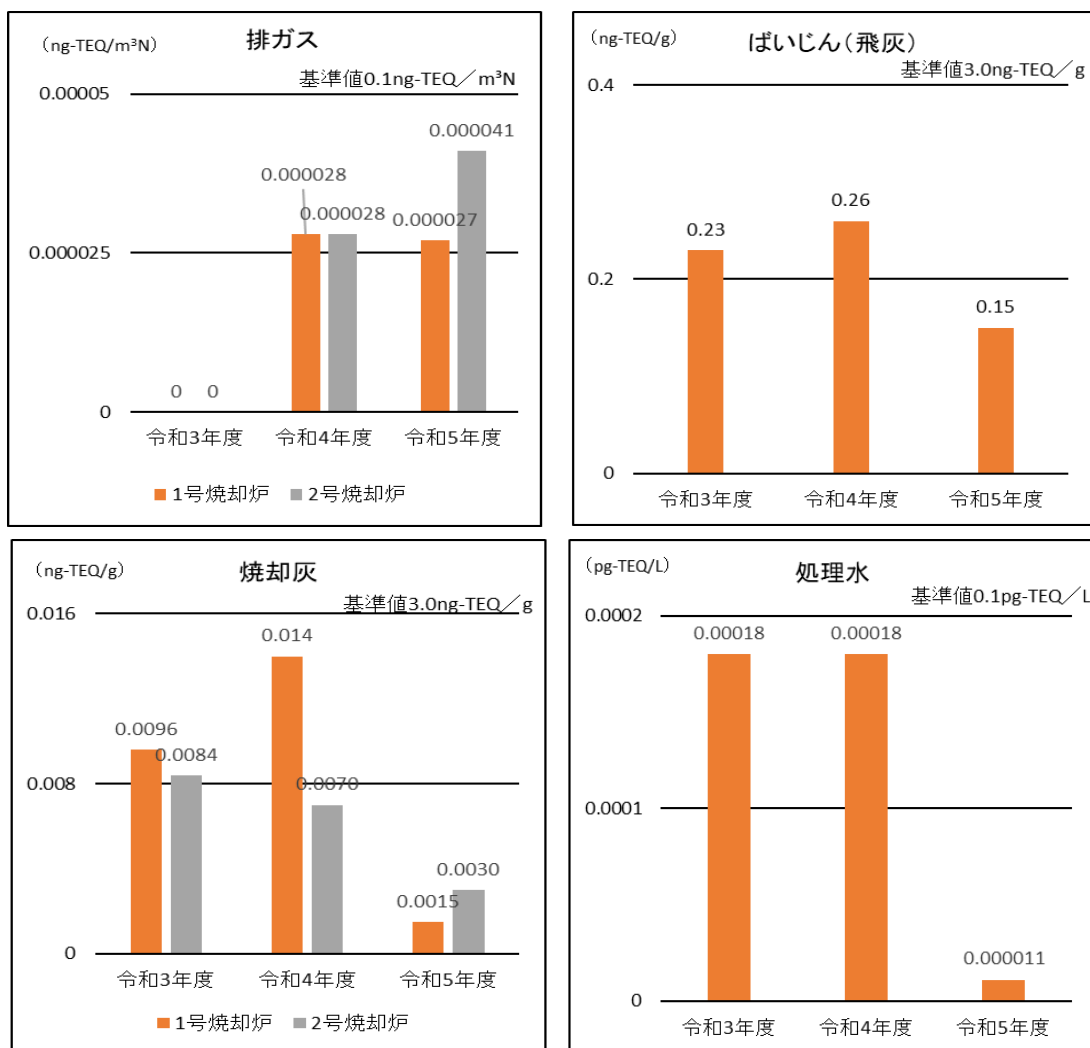
【注釈】（※）クリーンパーク折居維持管理計画に基づき2回採取したものです。

令和3年度～令和5年度のダイオキシン測定結果（推移）

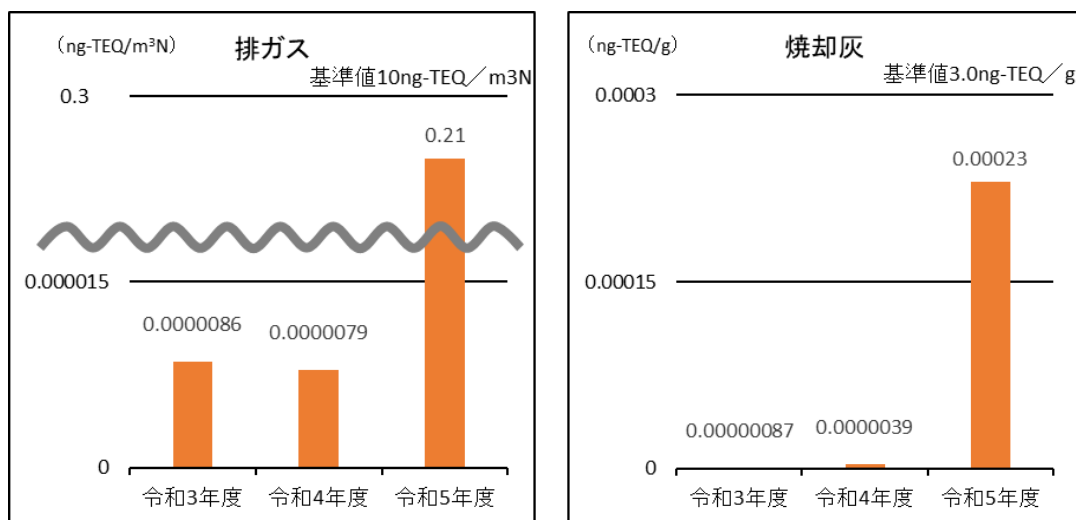
クリーンパーク折居



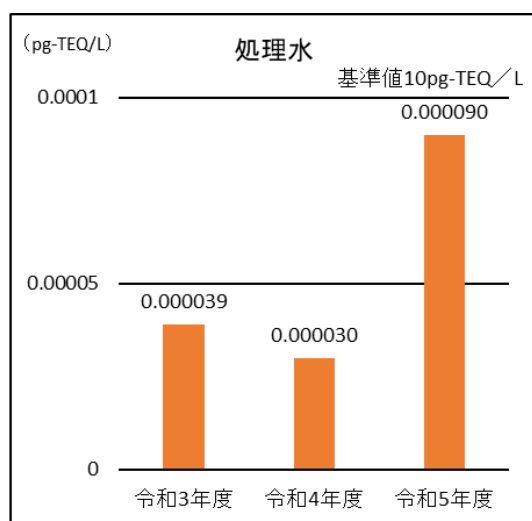
クリーン 21 長谷山



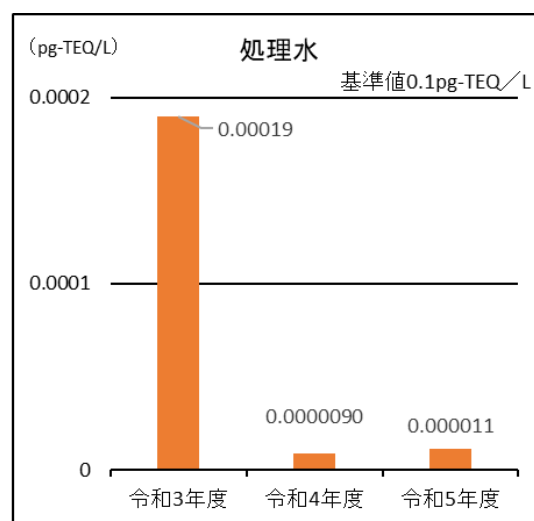
小動物焼却炉



グリーンヒル三郷山

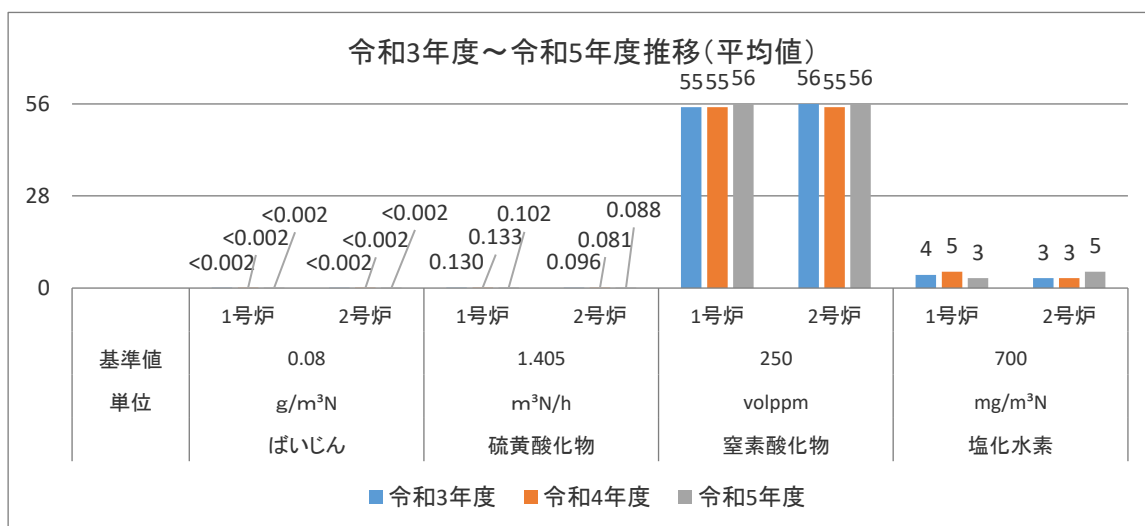


奥山排水処理施設

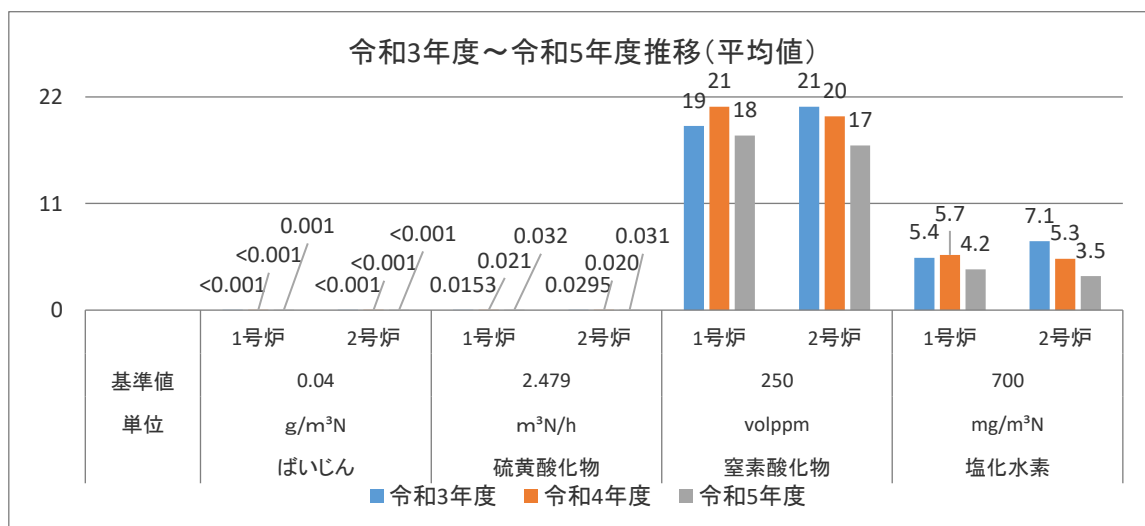


■排ガス（令和3年度～令和5年度推移）

クリーンパーク折居



クリーン 21 長谷山

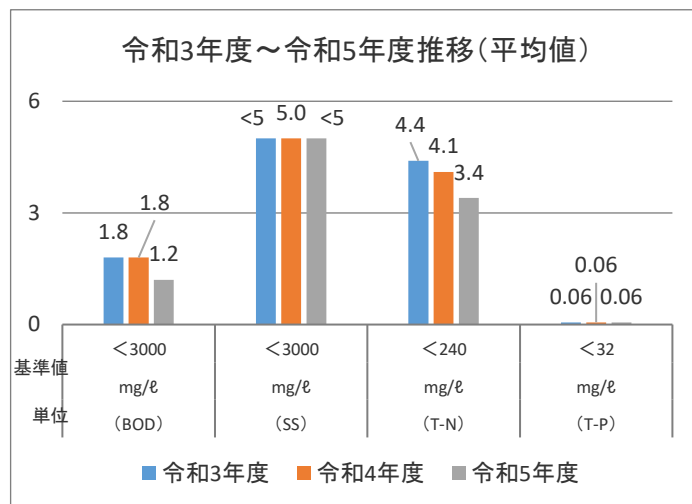


■排水（令和5年度測定結果及び推移）

(pH) 水素イオン濃度
 (BOD) 生物化学的酸素要求量
 (COD) 化学的酸素要求量 (SS) 浮遊物質
 (T-N) 窒素含有量 (T-P) 燐含有量

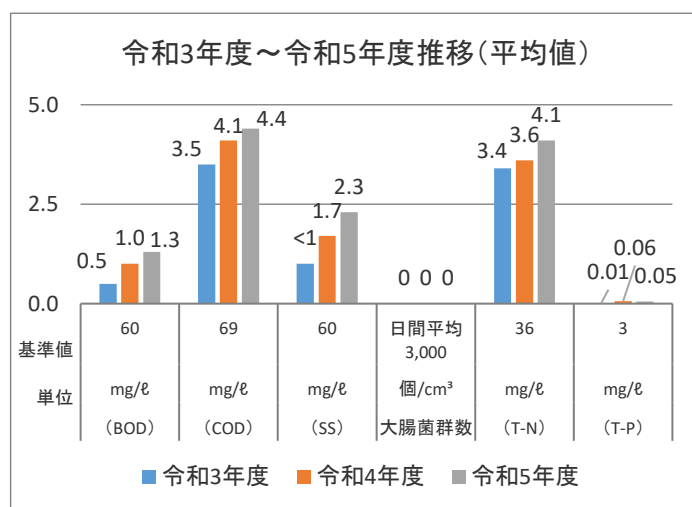
クリーンパーク折居

令和5年度	最小値	最大値
pH	6.8	7.8
BOD (mg/ℓ)	<1	2.3
SS (mg/ℓ)	<5	<5
T-N (mg/ℓ)	1.0	6.7
T-P (mg/ℓ)	<0.06	0.09



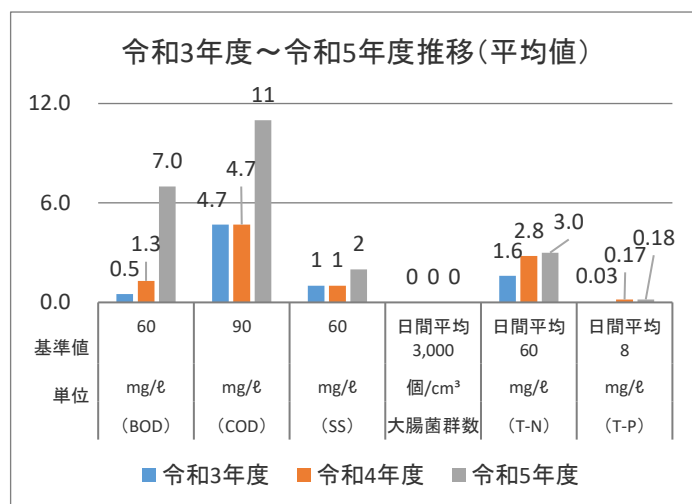
クリーン21 長谷山

令和5年度	最小値	最大値
pH	6.3	7.7
BOD (mg/ℓ)	0.9	1.8
COD (mg/ℓ)	1.2	6.1
SS (mg/ℓ)	<1	5
大腸菌群数 (個/cm³)	0	0
T-N (mg/ℓ)	2.2	5.6
T-P (mg/ℓ)	<0.05	0.08



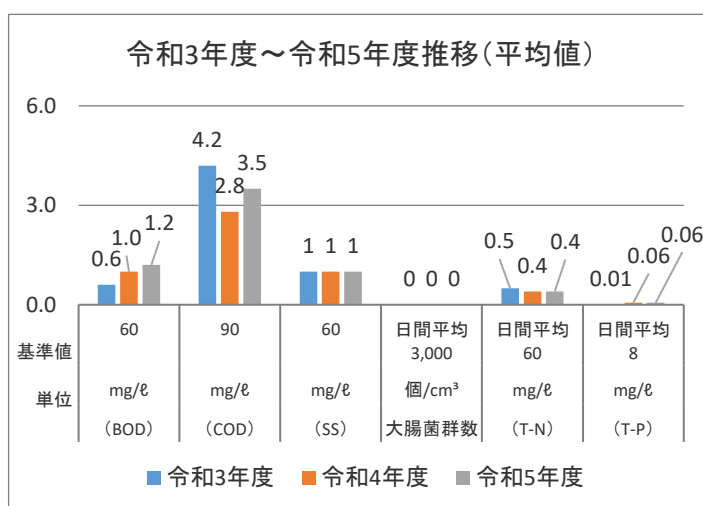
グリーンヒル三郷山

令和5年度	最小値	最大値
pH	7.5	8.1
BOD (mg/ℓ)	0.5	65
COD (mg/ℓ)	1.0	47
SS (mg/ℓ)	<1	5
大腸菌群数 (個/cm³)	0	0
T-N (mg/ℓ)	1.3	8.0
T-P (mg/ℓ)	<0.05	0.75



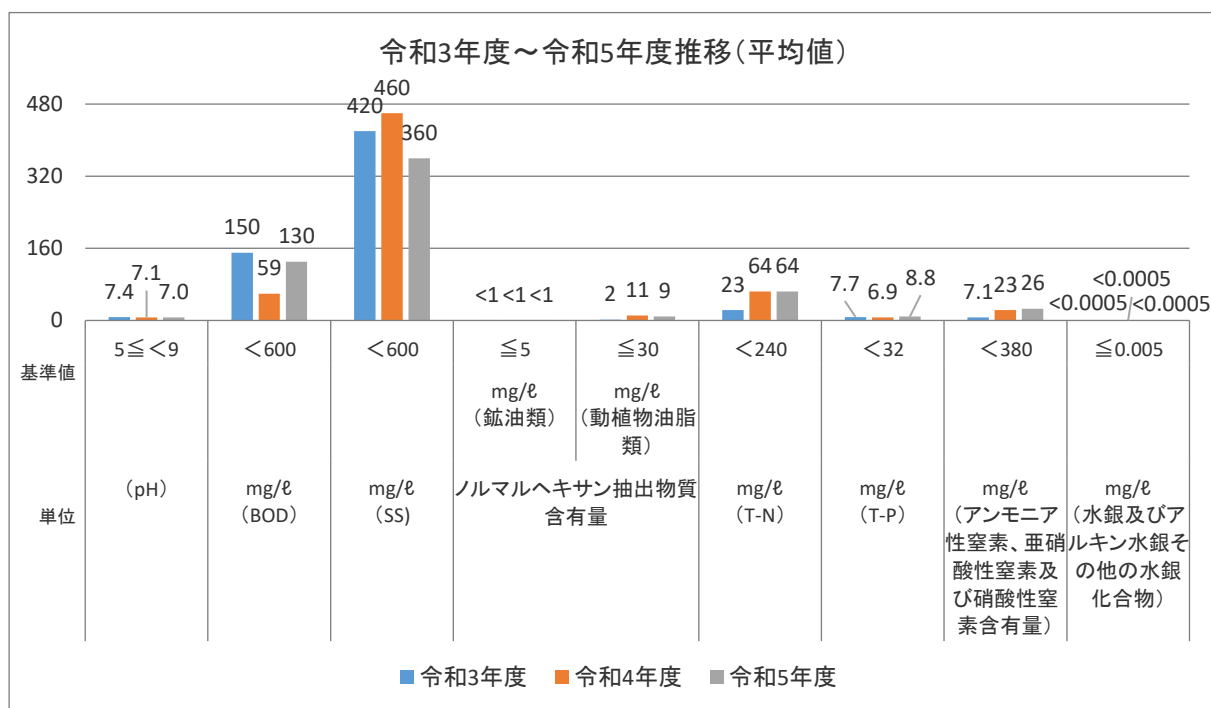
奥山排水処理施設

令和5年度	最小値	最大値
pH	7.9	8.1
BOD (mg/ℓ)	0.7	2.0
COD (mg/ℓ)	<0.5	11
SS (mg/ℓ)	<1	2
大腸菌群数 (個/cm³)	0	0
T-N (mg/ℓ)	<0.3	0.7
T-P (mg/ℓ)	<0.05	0.17



クリーンピア沢

(下水排水)

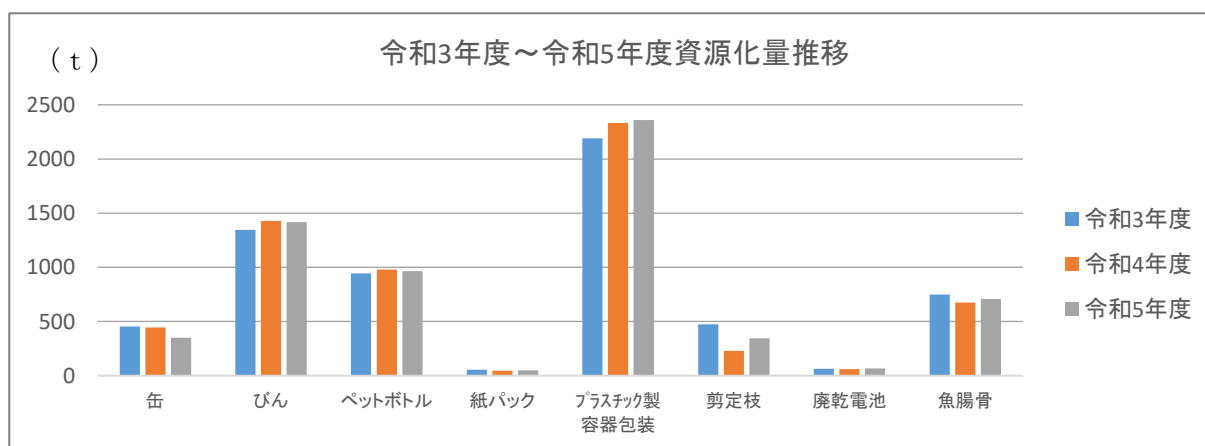


4. 再資源化処理



(1) 令和5年度資源化実績

	搬入量 (t)		資源化量 (t)	資源化率 (%)
缶	411.32		349.64	85.00
	内	スチール	152.62	
	訳	アルミ	197.02	
ビン	1,749.47		1,417.80	81.04
	内	無色	411.37	
	訳	茶色	349.74	
		他色	187.62	
		再生ビン	469.07	
ペットボトル	1,069.68		965.96	90.30
紙パック	48.35		50.00	103.41
プラスチック製容器包装	3,217.31		2,360.65	73.37
容器包装小計	6,496.13		5,144.05	79.19
剪定枝	361.23		344.57	95.39
廃乾電池	66.98		66.98	100.00
魚腸骨	708.20		708.20	100.00
合 計	7,632.54		6,263.80	82.07



◀ エコ・ポート長谷山でのビン(左)、ペットボトル手選別(右)の様子

(2) ボトル to ボトルリサイクル事業

資源化物のうちペットボトルについては、令和4年度からサントリーグループと協働して「ボトル to ボトルリサイクル事業」に継続して取り組み、令和5年度は新たにコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と協定を締結しました。

「ボトル to ボトルリサイクル事業」は、使用済みのペットボトルをペットボトルに繰り返し再生することができ、化石由来燃料の使用量削減やCO2排出量の抑制等にもつながります。



▲締結会見の様子（左：サントリーグループ、右：コカ・コーラボトラーズジャパン(株)）

ボトル to ボトルとは？

使った後のペットボトルをもう一度ペットボトルにリサイクルする取組です。
ペットボトルからペットボトルへ何度も繰り返し作り作りなすことができます、
資源を無駄にしない環境にやさしいリサイクルです。
一からペットボトルを作る場合と比較し、CO₂を約60%削減できます。

何度も繰り返すリサイクル

ペットボトルの出し方

キャップやラベルは、できている材料が違うので、外してください。
こちらは、プラスチック製容器包装に出してください。
そして、ペットボトルは、汚れているとリサイクルできません。
中身を全て出して、軽く水洗いして出してください。
間違った出し方をしてしまうとリサイクルできません。
ボトルtoボトルリサイクルの推進にご協力をよろしくお願いします。

ペットボトルの出し方3か条

- ① キャップとラベルを外す
- ② 中身を出す
- ③ 軽く水洗いする

キャップとラベルはプラスチック製容器包装へ！
正しく分別してきれいにしてお出ししましょう！

5. 環境負荷を減らす取組

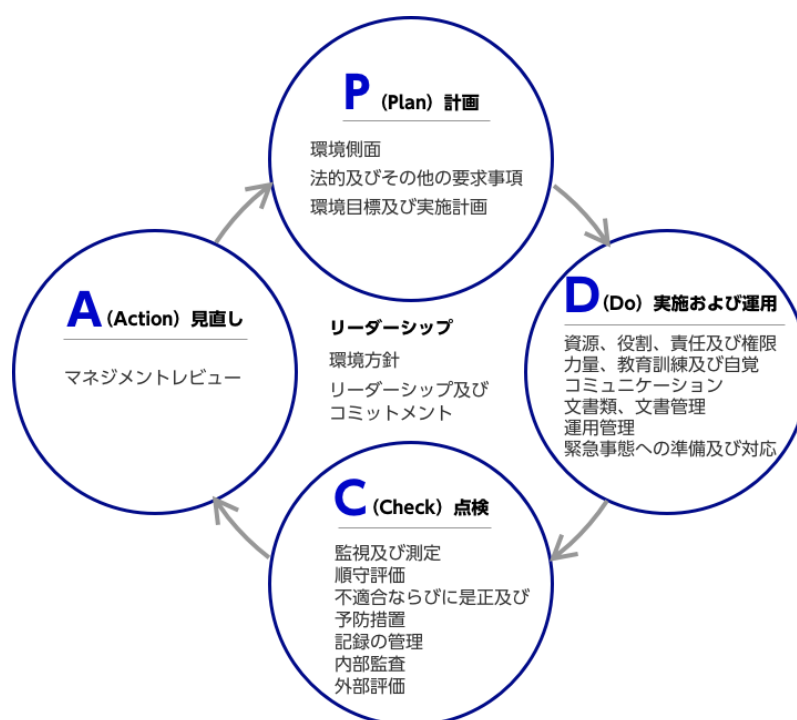


(1) 環境マネジメントシステム

地球環境保全のための国際規格である I S O 14001 については、平成 13 年 7 月に認証取得し、平成 22 年度からは「適合自主宣言」活動へとステップアップし、平成 24 年度からは全施設に適用を拡大しました。

さらに、これまでの実績を踏まえた上で平成 30 年度から組合の事業内容により適した独自の環境マネジメントシステムを設定し、運用を開始しました。自主的に環境保全の取組を進めるため、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて、PDCA サイクルによる継続的な改善を図っています。令和 5 年度に実施した専門家による外部評価においても、当該システムは適切であり、その運用等についても妥当であるとの高い評価を受けています。引き続き、環境に与える負荷が極力低減された事務事業の実施に努めるとともに、環境に有益な影響を与える取組を行っていきます。

継続的改善



(2) 環境目標と達成状況

環境方針を具体的に展開するために、環境影響評価の結果を参考に、環境方針と整合する環境目標及び実施計画を設定し、環境目標の達成に向けた具体的な活動・施策を推進しています。さらに、令和 3 年度からは、環境目標と関連する SDGs の紐付けを行っています。

なお、環境目標は毎年度 4 月に定期見直しを行い、達成状況を定常的に監視及び測定する手順を確立し、実施し、維持しています。

■令和5年度環境目標と達成状況

令和5年度環境目標達成率：75%（未達成7件については、是正・予防措置を実施）

区分	基本方針	環境目標数	目標達成数
共通目標	循環型社会、脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	8	6
所属目標	安心安全な施設運営	10	9
	安心安全な施設運営	10	6
合 計		28	21

基本方針	共通目標項目（全所属）	単年度目標	関連する SDGs	達成程度
循環型社会、脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	18,080,661kWh以下とする		（目標）18,080,661kWh （実績）17,256,087kWh （△824,574kWh） （達成状況）○
	灯油使用量の削減	320,112ℓ以下とする		（目標）320,112ℓ （実績）298,711.6ℓ （△21,400.4ℓ） （達成状況）○
	ガソリン使用量の削減	4,857ℓ以下とする		（目標）4,857ℓ （実績）4,434.06ℓ（△422.94ℓ） （達成状況）○
	軽油使用量の削減	71,549ℓ以下とする		（目標）71,549ℓ （実績）54,678.92ℓ （△16,870.08ℓ） （達成状況）○
	OA用紙の使用量の削減	1,180枚以下とする		（目標）1,164枚 （実績）1,066.25枚（△97.75枚） （達成状況）○
	ごみ排出量の削減	可燃ごみ 938.6kg以下とする プラスチック類ごみ 356.6kg以下とする	 	可燃ごみ （目標）938.6kg （実績）1,169.1kg（+230.5kg） （達成状況）× 機構改革に伴う整理整頓等が影響したと考えられる。 プラスチック類ごみ （目標）356.6kg （実績）389.3kg（+32.7kg） （達成状況）× 新庁舎移転に向けて書庫整理等が行われたことが影響したと考えられる。
	グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率 95%以上の品目数の割合を向上させる。	86%以上とする		（目標）86%以上 （実績）95.3%（△9.3%） （達成状況）○

基本方針	所属目標	担当所属	関連する SDGs	達成程度
安心安全な施設運営	職員の意識向上のための研修を年間通して適宜実施する	安全推進室		（目標）適宜実施 （実績）20回 （達成状況）○

	SNS について、週 1 回以上更新する	総務課		(目標) 週 1 回以上 (実績) 9 月、10 月末達成 (達成状況) × 一部目標達成できない週があったものの、投稿数の拡大につながっている。
	廃棄物の不完全燃焼時に発生する CO 排出濃度の 29ppm (1 時間平均値) 超過回数を 10 回以内とする	クリーンパーク折居	  	(目標) 10 回以内 (実績) 8 回 (△2 回) (達成状況) ○
	最終処分量 (焼却灰及び飛灰処理物) の発生率を 9.72% 以下とする	クリーンパーク折居	 	(目標) 9.72% 以下 (実績) 10.39% (+0.67%) (達成状況) × ハード面での改良は完了。今後は燃焼管理等、運転員の更なる技量向上に向けて指導を継続する。
	廃棄物の不完全燃焼時に発生する CO 排出濃度の 29ppm (1 時間平均値) 超過回数を 12 回以内とする	クリーン 21 長谷山	  	(目標) 12 回以内 (実績) 13 回 (+1 回) (達成状況) × 長寿命化事業の本格化に向けてごみピット貯留量を低く推移させており、底に溜まった水分量の多いごみの燃焼が運転管理に影響したものと思われる。再燃バーナーの起動タイミングやクレーンの攪拌に力を入れ炉内温度の安定を図る。
	奥山排水処理施設において、排水中の有機物及び無機物の量を表す指標である COD (化学的酸素要求量、基準値 20mg/L) を 10mg/L 以下で管理する	クリーン 21 長谷山	 	(目標) 0 回以内 (実績) 2 回 (達成状況) × 活性炭入れ替えのタイミングが合わなかったことにより、処理過程において、活性炭の劣化により十分な処理ができていなかったことによるもの。その後、活性炭の入れ替えを行い、それ以降については、安定的な運転ができています。
	事業系一般廃棄物の展開検査を年 40 回以上実施する	クリーン 21 長谷山		(目標) 40 回以上 (実績) 79 回 (達成状況) ○
	埋立に使用する覆土の使用量を埋立廃棄物の量に対して 2 割を上限とする	グリーンヒル三郷山	 	(目標) 20% 以下 (実績) 14.59% (△5.41%) (達成状況) ○
	排水処理施設の流量調整槽の水位が 4.7m を超えないように維持管理し浸出水の外部への流出を防ぐ	グリーンヒル三郷山	 	(目標) 0 回 (実績) 0 回 (達成状況) ○
	不燃ごみに混入した小型家電等を 1,500kg 以上回収する	リサイクルセンター長谷山	 	(目標) 1,500kg 以上 (実績) 1,616.5kg (+116.5kg) (達成状況) ○
循環型社会、脱炭素社会の構築を目指した一般的な取組の推進	所属長会議においてペーパーレス会議を 2 回以上実施する	総務課		(目標) 2 回以上 (実績) 6 回 (+4 回) (達成状況) ○
	年次有給休暇取得日数を平均 16 日以上とする	総務課	 	(目標) 16 日以上 (実績) 15.8 日 (△0.2 日) (達成状況) × 昨年度に比べて改善したが、目標達成には至らなかった。

公用車電動化対策の一環として、クリーンパーク折居に普通充電器4基を整備する	会計課		(目標) 4基整備 (実績) 4基整備 (達成状況) ○
事業協同組合各企業との連絡調整等に伴うタブレットを導入する	業務課		(目標) タブレットの導入 (実績) 全社にタブレットを導入した (達成状況) ○
沢中継施設における一年間の電気使用量を224,952kWh以下とする	施設課 (沢中継施設)		(目標) 224,952kWh (実績) 121,092kWh (△103,860kWh) (達成状況) ○
下水道排水のSS(浮遊物質)濃度計の誤探知を4回以下とする	施設課 (クリーンピア沢)		(目標) 4回以下 (実績) 2回 (△2回) (達成状況) ○
年間売電量を焼却量1tあたり、2炉運転時において272kWh以上とする	クリーンパーク折居		(目標) 272kWh以上 (実績) 294kWh (+22kWh) (達成状況) ○
分析調査における汚れプラ混入割合を令和4年度実績(3.88%)以下とする	リサイクルセンター長谷山		(目標) 3.88%以下 (実績) 1.97% (△1.91%) (達成状況) ○
ペットボトルの資源化率(搬入量に対する資源化物搬出量の割合)を令和3年度実績(88.38%)以上とする	エコ・ポート長谷山		(目標) 88.38%以上 (実績) 92.79% (+4.41%) (達成状況) ○
体験学習と施設見学を合わせたイベントを開催し、施設見学会の住民満足度を80%以上とする	エコ・ポート長谷山		(目標) 80%以上 (実績) 開催した5回すべてのイベントで80%以上達成 (達成状況) ○

(3) 熱エネルギーの有効利用

クリーン21長谷山及びクリーンパーク折居ではごみの燃焼による熱を利用して発電をしています。この電気は工場内の動力や照明などに利用され、余った電力は電力会社に売却をしています。また、クリーンパーク折居では、隣接する山城総合運動公園へ温水供給を行っています。



▲発電用蒸気タービン



▲クリーン21長谷山(左)クリーンパーク折居(右)

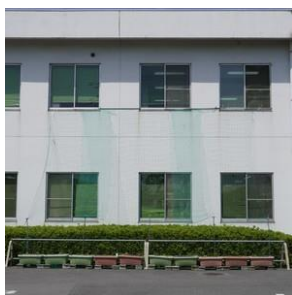
令和5年度発電量

クリーンパーク折居	13,318,630kWh
クリーン21長谷山	16,960,510kWh

(4) 環境活動

■ グリーンカーテン

平成 19 年度から夏の CO₂ 削減・節電対策として、グリーンカーテンを設置しています。
令和 5 年度は、本庁管理棟とエコ・ポート長谷山で取り組みました。



▲本庁（白ゴーヤ）



▲エコ・ポート長谷山
(パッションフルーツ)



■ コンポスト

本庁管理棟各所属から発生する厨芥類をコンポスト容器で堆肥化したものを、場内の造園樹木の堆肥にリサイクルすることにより、可燃ごみの減量及び資源の有効利用に取り組みました。



★生ゴミのコンポスト化★

- ① **容器の設置場所**：なるべく日当たり、水はけ、風通しのよい場所に設置する。
- ② **下準備**：容器の底に枯れ葉、枯れ草、ワラくず、米ぬかなどを混ぜて 20 cm 程度敷く。
- ③ **生ゴミの発酵と減量**：土中微生物（バクテリア等）の働きで生ゴミは発酵分解が進む。生ゴミの発酵分解を早めるためには、週 1, 2 回スコップで中をかき回し、酸素を入れる。乾いた土をスコップに一杯程度かぶせる。かぶせる前に枯れ葉、枯れ草、細かい紙くず（シュレッダー紙など）を積極的にコンポスト容器に入れる。
- ④ **堆肥として使う**：コンポスト容器 2/3 程度たまったら一番上に土を 2~3 センチ程度入れ、そのまま 4~5 ヶ月放置。（時々スコップで攪拌。）フタを取って強い臭いがなくなっていれば、コンポスト容器を抜き取り、その場で適当な高さに崩して 1 か月に 1~2 度切り返しを続け完熟させる。抜き出した後、強い臭いがする場合は更にナイロン袋などで覆い（水分を入れない。）3~4 ヶ月かけて切り返しを続けて完熟させる。

第3章 コミュニケーション

1. 環境情報の提供



(1) ホームページ等

平成13年度に「組合ホームページ」を開設、平成30年度にリニューアルを行い情報提供に努めています。また、より幅広い年齢層への情報発信のため、「組合公式Facebook」及び「組合公式Instagram」も開設しています。

<ホームページ>

<https://www.jyonaneika-n.jp/>



<Facebook>

<https://www.facebook.com/jyonaneikan.jp/>



<Instagram>

https://www.instagram.com/jyonaneikan_official/



(2) 環境モニタリング装置の設置

環境監視データ表示装置

クリーン21長谷山の事務所受付横に、発電出力、炉内温度及び排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素、塩化水素、ばいじん、アンモニア濃度の計測データを示す環境監視データ表示装置があり、常時、現在の状況を知ることができます。



クリーンパーク折居でも入口及び見学者ルートに発電出力、排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素、塩化水素、ばいじん等の計測データを示す環境監視データ表示装置があり、常時、現在の状況を知ることができるほか、当組合ホームページにおいて、リアルタイムで運転状況をお知らせしています。

(3) 広報紙の発行

組合構成市町の住民の方々に、広報紙「エコネット城南」を年間5回発行しています。また、7月には子ども特集号を発行し、環境学習の一環として、管内小学校（47校）の4年生から6年生全員に配布しています。

令和5年度発行部数：年度当初161,245部～年度末162,660部



(4) ラジオ放送での情報発信

F Mうじ 88.8MHz「声のエコネット城南（広報紙発行月の『第一水曜日』午後4時～4時30分放送）」を通じて、環境情報の提供に努めています。

広報紙『エコネット城南』の情報を、組合の職員とFMうじのパーソナリティーでわかりやすく解説しています。（FMうじホームページ <https://www.fmuji.com/>でも放送時間に聴くことができます。）

2. 施設見学



令和5年度の施設見学は、74団体、見学者数は延べ3,495人でした。

管内小学校の施設見学については、小学校4年生の社会科授業の一環として取り組まれている環境学習、とりわけ「ごみ問題」についての理解を深めていただくため、管内小学校（25校）を受け入れました（令和4年度は27校）。実施を見送られた小学校に対しては、ガイド付き施設案内動画及びパンフレットを配布し、環境学習の補完に努めました。

また、クリーンパーク折居では、気軽に見学ができる自由見学会を継続実施しており、管内住民の環境意識の向上に努めています。



▲小学校施設見学



▲クリーンパーク折居見学通路

施設別見学者数

施設名	見学者数（人）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
沢中継施設	0	6	41
クリーンピア沢	0	0	0
クリーンパーク折居	436	462	411
クリーン 21 長谷山	425	1,595	1,433
リサイクルセンター長谷山	15	30	96
グリーンヒル三郷山	0	23	23
エコ・ポート長谷山	420	1,630	1,491
合計	1,296	3,746	3,495

★各処理施設の施設見学を受け付けています。

団体 施設見学	見学実施日		平日（年末年始は除く）
	見学時間帯		9時から16時まで（12時から13時は除く） 見学の所要時間は各施設約1時間です。
	申込方法		事前に広報協働課へ電話にて連絡をお願いします。 （☎0774-34-3355）
	申込受付時間		9時から17時まで（12時から13時は除く）
	見 学 対 象 施 設	ごみ焼却施設	クリーンパーク折居、クリーン 21 長谷山
		粗大ごみ処理・フ ラッシュ製容器包装	リサイクルセンター長谷山
		再資源化施設	エコ・ポート長谷山
	注意事項		多くの方に見学していただくため、申し込みはできるだけグループでお願いします。 見学希望日の 2週間前 までに連絡をお願いいたします。

クリーンパ ーク折居 自由見学	見学実施日	環境ふれあいひろばの休日を除き、どなたでも無料でご入場いただけます。
	見学時間帯	9時から17時まで
	見学方法	環境ふれあいひろば1階の窓口までお越しください。
	注意事項	基本的には 事前予約不要 ですが、 10人以上の団体 での見学を希望される場合は、事前予約をお願いします。

3. 住民参加事業・大学連携



(1) 環境まつり

令和5年度は、クリーンパーク折居への本庁機能移転を見据えて京都府山城総合運動公園（太陽が丘）及び宇治市植物公園と連携し、クリーンパーク折居において4年ぶりのイベントを実地で開催しました。（雨天のため、太陽が丘会場でのイベントは中止）

テレビでおなじみのお天気キャスターの片平敦氏による地球温暖化をテーマにした講演や、職員のガイドによるクリーンパーク折居の施設見学、職員製作のクレーンゲームの操作体験もできるクリーンパーク折居の自由見学、不燃ごみ・プラスチック分別啓発、オリジナルの缶バッジ作り、チップ化物の中で育ったカブトムシの幼虫を探すイベント等を行い、延べ500人の来場者を得て幅広い年齢層への環境啓発活動を行うことができました。

日時	令和5年10月9日（月・祝） 午前10時～午後3時
場所	クリーンパーク折居
テーマ	「かけがえのない この美しい地球を 次の世代に引き継ごう」
来場者	約500人



(2) リサイクル工房

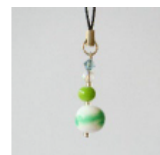
リサイクル工房は、ガラス工房、衣服工房、自転車工房など、住民の皆さんに参加、体験を通して環境への意識や知識の向上を目指し、身近なところから楽しく取り組める場や機会の充実を図っています。また、衣服譲渡コーナーは、住民の皆さんから提供していただいた衣服、着物が有効利用され、3Rの一つであるリユースの推進に寄与してきました。

本機能は新事務所棟の「環境ふれあいひろば」の開設に合わせて、内容をリニューアルして移転・継続します。

ガラス工房

電気炉細工（ガラスフュージング）・砂吹き細工（サンドブラスト）・バーナー細工（バーナーワーク）の3つの種類があり、それぞれ作品作りが楽しめます。

令和5年度参加者（実績） 工房148人、教室318人



自転車工房

持ち込み自転車の修理や再生自転車の組立を行うことができます。（令和6年度廃止）

令和5年度参加者（実績） 30人



衣服工房

はぎれや和布を使って、小物を作る衣服工房のほかに、着物リフォーム教室では、かばんや洋服にリメイクしています。

令和5年度参加者（実績） 工房100人、教室161人、着物リフォーム教室244人



(3) 環境学習

令和3年度から、「環境学習」という新たな視点で、環境に対する気付きや理解に結びつける取組の実践として、体験学習と施設見学を組み合わせたイベントを開催してきました。

ごみの減量や分別に加え、地球温暖化問題など様々な環境問題を取り上げることで、幅広い世代の参加者に環境について理解を深める機会を提供しました。



学べる×楽しむ×考える



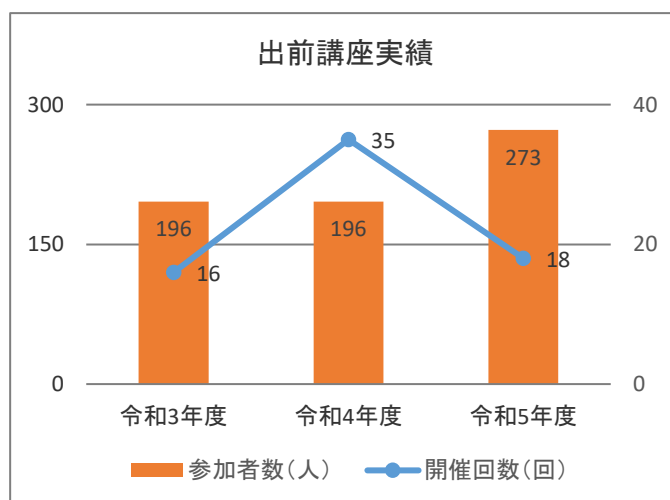
体験学習&施設見学イベント開催実績（令和5年度）

開催日	実施内容とテーマ	見学施設	参加者人数
7/28（金）	バードホイッスル	エコ・ポート長谷山	10組 20人
12/7（木）	里山のツルで作るリース	エコ・ポート長谷山	9人
12/15（金）	しめ縄飾りを作ろう	エコ・ポート長谷山	10人
2/6（火）	フラワーアレンジメント	エコ・ポート長谷山	15人
3/26（火）	家具の端材で木工チャレンジ	エコ・ポート長谷山	11組 28人
合計 5回			82人

(4) 出前講座

参加者の利便性の向上を図るため、エコ・ポート長谷山での工房開催に加え、管内自治会や小学校等から依頼された出前講座、構成市町や管内各種団体が主催するイベントに参加し、3R推進のPRに努めました。

出前講座開催実績（令和5年度）：18回



(5) 廃食油の回収

限りある資源を有効活用するため、家庭で使い終わった廃食油の回収促進に努めました。なお、回収した廃食油は、BDF（バイオディーゼル燃料）の原材料として再生事業者に引き渡しています。

令和5年度廃食油回収量及び利用状況

（単位：ℓ）

前年度保管量	回収量	石けん作り使用	BDFへのリサイクル	残量
50.06	66.00	0.00	115.00	1.06

(6) 剪定枝チップ化物の配布

組合管内にお住まい（又はお勤め）の方を対象に、街路樹や庭木などの剪定枝を細かく砕いたチップ化物を無料配布し、有効利用していただいています。

令和5年度配布期間：	個人等小口利用者向け	令和5年9月11日～9月15日
		令和6年3月4日～3月8日
	農家等大口利用者向け	令和5年9月25日～9月29日
		令和6年3月11日～3月15日
令和5年度配布実績：	個人等小口利用者向け	385m ³
	農家等大口利用者向け	359m ³



<剪定枝チップ>

土の表面に敷くことで、雑草抑制や水分保持に効果があるマルチング材等に利用できます。

(7) 京都文教大学との連携

令和5年度は、京都文教大学で開講された「シチズンシップ論」において、「ごみ処理から持続可能な社会の形成を考える」をテーマに授業を行い、ごみの減量及び分別の必要性や本組合管内におけるごみ量の推移や分別状況、組合処理施設の仕組みや課題等について認識を図り、授業後には多くの学生から効果的な啓発手法等の提案が提出されました。

同大学との連携協力を通じて、将来の地球環境保全を担う世代に対し、主体的な環境啓発意識の醸成を図ることができました。

4. 連絡協議会



クリーンパーク折居連絡協議会は周辺 12 自治会・町内会及び城南衛生管理組合をもって構成されています。

原則年 2 回開催し、工場の運営状況について報告するとともに、工場の稼働その他周辺環境に関することについて意見交換等を行っています。

◎クリーンパーク折居連絡協議会構成 12 自治会・町内会…白川区、折居台自治会、琵琶台自治会、琵琶台緑風苑自治会、上権現町内会、城南荘連合町内会、宇治大谷自治会、小根尾町内会、奥広野自治会、広野三軒家上町内会、宇治友が丘東町自治会、尖山自治会

◇令和 5 年度開催実績

令和 5 年 6 月 25 日（日）「クリーンパーク折居連絡協議会」

■出席者

自治会・町内会（4 名）

城南衛生管理組合（6 名）、城南環境テクノロジー株式会社（2 名）、長村組（1 名）

■内容

- （1）クリーンパーク折居の稼働状況等について、昨年度の結果を報告
- （2）新事務所棟建設事業について説明
- （3）新事務所棟に設置する工房機能の説明及び意見募集等
- （4）クリーンパーク折居施設見学会

令和 5 年 12 月 17 日（日）「クリーンパーク折居連絡協議会」

■出席者

自治会・町内会（4 名）

城南衛生管理組合（6 名）

■内容

- （1）クリーンパーク折居の稼働状況等について、上半期の結果を報告
- （2）クリーンパーク折居基準値超過土壌の取扱いについて報告
- （3）新事務所棟建設工事・施設の概要及び工事の進捗状況等について説明
- （4）環境まつりの開催結果について説明、クリーンキャンペーンの実施について意見交換を実施

【参考資料】

- ・環境報告ガイドライン 2018 版（環境省）
- ・環境報告書の記載事項等の手引き第 3 版
- ・一般廃棄物処理施設向け環境報告書ガイドライン 2005 年版（東京都環境局）
- ・一般廃棄物処理実績書 令和 5 年度版（城南衛生管理組合）
- ・事業概要令和 5 年度版（城南衛生管理組合）

環境報告書（令和 5 年度版）

城南衛生管理組合 循環型社会推進課

〒611-8521 京都府宇治市宇治折居 18 番地

TEL: 0774-34-3373 FAX: 0774-34-3375

ホームページ <https://www.jyonaneikan.jp/>

令和 6 年 11 月作成